

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 まほら。		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3 (回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員がいることで様々な視点から見て、アドバイスをしている	・職員間で意見を出し合い、様々な視点から支援を検討している ・困りごとが生じた際は、1人で考えず、職員間で相談・共有する体制を意識している	ケース検討の機会を設け、経験や知識の共有を行う
2	児童のことを十分理解し、一人ひとりの特性に応じた専門性のある支援を提供するよう努めている	・訪問先での様子や環境を丁寧に観察し、児童1人ひとりの特性や困り感を把握するよう努めている ・支援後は振り返りを行い、次回の支援内容に反映している	訪問先職員との連携を深め、より実践的で効果的な支援につなげていく。
3	保護者と意思の疎通や情報伝達を丁寧に言い、いつでも相談しやすい環境づくりを心がけている	・保護者の気持ちに寄り添い、丁寧な言葉かけや傾聴を意識している ・支援内容や児童の様子等、分かりやすく具体的に伝えるように心がけている	普段から相談しやすい雰囲気づくりを継続し、より安心して話せる関係性を深めていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の実施先が限られている	・サービスを知る保護者が少ない ・必要性を感じていない保護者が多い	問い合わせや相談があった際には、丁寧な説明を行い、訪問支援につなげていく
2	保育所等訪問支援をの取組について、十分に周知されていない	周知方法が限られており、情報発信の機会が十分でなかった	関係機関との会議や連絡の機会を活用し、訪問支援の役割や強みを伝えていく
3	限られた時間の中で、関係機関との十分な意見交換が難しい場合がある	訪問時間や日程が限られており、十分な話し合いの時間を確保しにくい状況がある	・事前に支援の目的や相談内容を整理し、短時間でも意見交換が行えるよう工夫する ・必要に応じて電話での意見交換、連携の機会を確保する